

たけちのみるひと あふみ なる みやこ  
高市古人、近江の旧き堵を感傷して作る歌

或書に云はく高市連黒人なりといふ  
い たけちのみるひと

三二番

いにしへ

ひと われ

古の人<sup>ひと</sup>に我<sup>われ</sup>あれや

ささなみ

楽浪の

ふる

みやこ

古き京を

み

見れば悲しき

かな

三三番

ささなみ

くに

楽浪の国<sup>くに</sup>つ御神の

みかみ

うらさびて

あ

荒れたる京<sup>みやこ</sup>

み

見れば悲しも

かな